

ご購入の際は、巻末の「使用上のご注意」を必ずお読みください

室内用

電波時計 取扱説明書

(デジタル目覚まし時計)

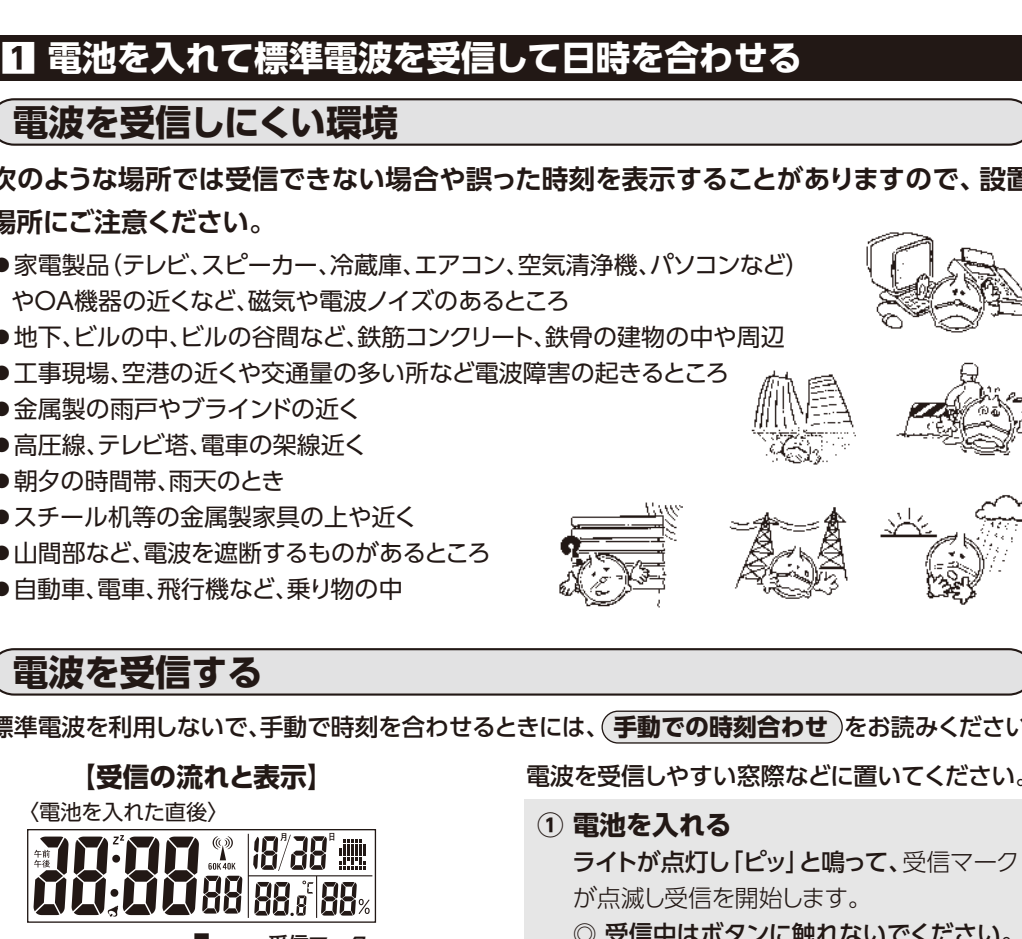
お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

販売元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属しておりません。単4形アルカリ乾電池を2本ご用意ください。

各部の名称と役割



- ①アラーム合わせ —— アラーム時刻を合わせるときに使用
 ②時刻合わせ —— 手動で日時を合わせるときに使用
 ③12/24H切替/ [ON/OFF] —— 短押しで12/24H表示の切り替え
 ④アラームON/OFF/ [ON/OFF] —— 短押しでアラームON/OFFの切り替え
 ※ [ON/OFF] は、アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用
 ⑤強制受信 —— 場所を移動したときなど、受信を試みたいときに使用
 ⑥SNOOZE/LIGHT —— 押すと鳴っているアラームが一時停止。(スヌーズ/ライト) また、約5秒間液晶表示部を照明

電池ぶたの開閉
取り外す
 本体をしっかりと持ち、電池ぶたの左右2カ所の [] を指で押しながら右方向に動かす。
取り付ける
 電池ぶたを↑方向に動かす。
注意 電池の⊕と⊖を指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。
 液晶面に透明の保護シートが貼られている場合は、剥がしてからご使用ください。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

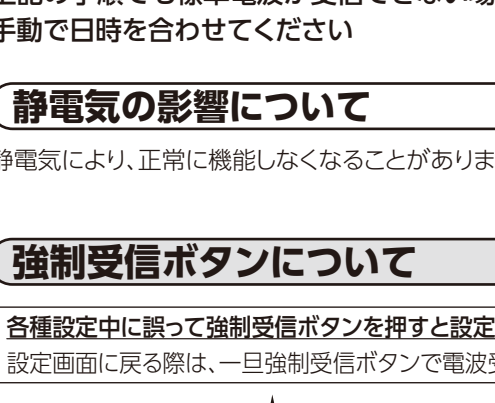
電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがありますので、設置場所にご注意ください。

- 家電製品(テレビ、スピーカー、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコンなど)やOA機器の近くなど、磁気や電波ノイズのあるところ
- 地下、ビルの中、ビルの交差など、鉄筋コンクリート、鉄骨の建物の中や周辺
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる場所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- スチール製の金属製家具の上や近く
- 山間部など、電波を遮断するものがあるところ
- 自動車、電車、飛行機など、乗り物の中

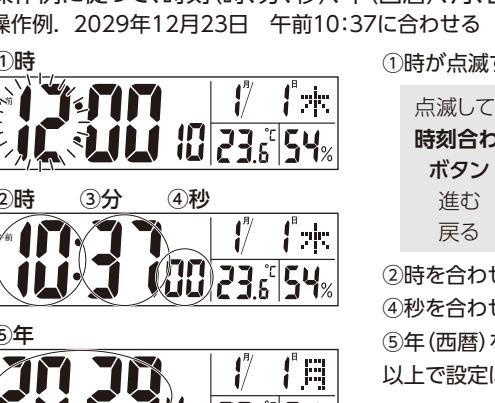
電波を受信する

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、「**手動での時刻合わせ**」をお読みください。

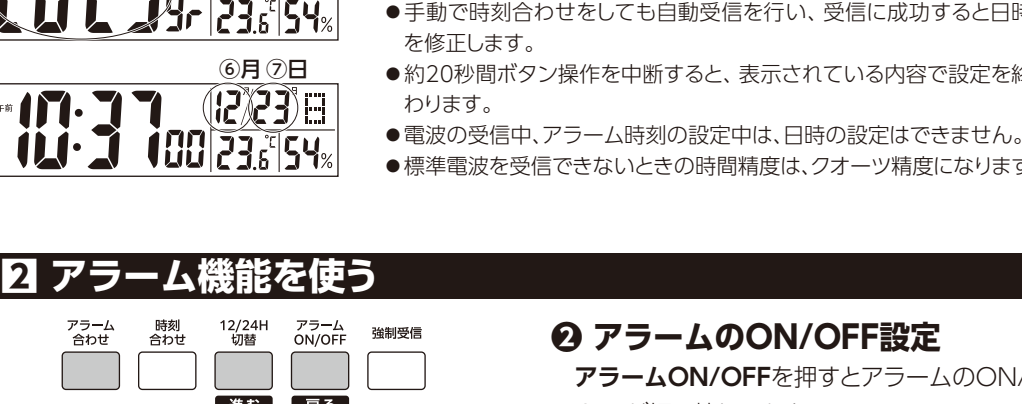


- 電波を受信しやすい際などに置いてください。
- ①電池を入れる
ライトが点灯し「ピツ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
 - ②受信中はボタンに触れないでください。
10分待って受信結果を確認する
受信は、40kHz/60kHzの電波を探索しながら最長で10分を行います。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

受信マークの見かた



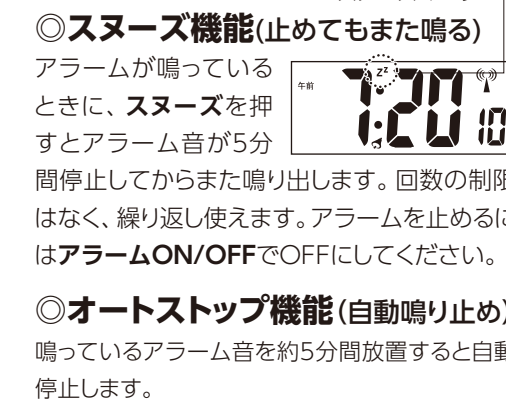
電波の受信中に1回または2回強制受信を押すと、受信マークが消灯し受信を中止します。



○受信マークが点灯し受信成功を示しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてから**強制受信**を押して再度受信を試みてください。
○受信マークは、次の自動受信に失敗すると消灯します。

標準電波を受信できない場合

- 場所を変える/受信をやり直す
屋外やベランダ、電波の受信しやすい窓ぎわで本紙表面の「電波時計について」の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、強制受信を押して結果を確認します。
- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせを状態のままにしておくとうまく受信できる可能性が高くなります。



上記の手順でも標準電波が受信できない場合は、「**手動での時刻合わせ**」をお読みのうえ、手動で日時を合わせてください

静電気の影響について

静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには電池を入れ直してください。

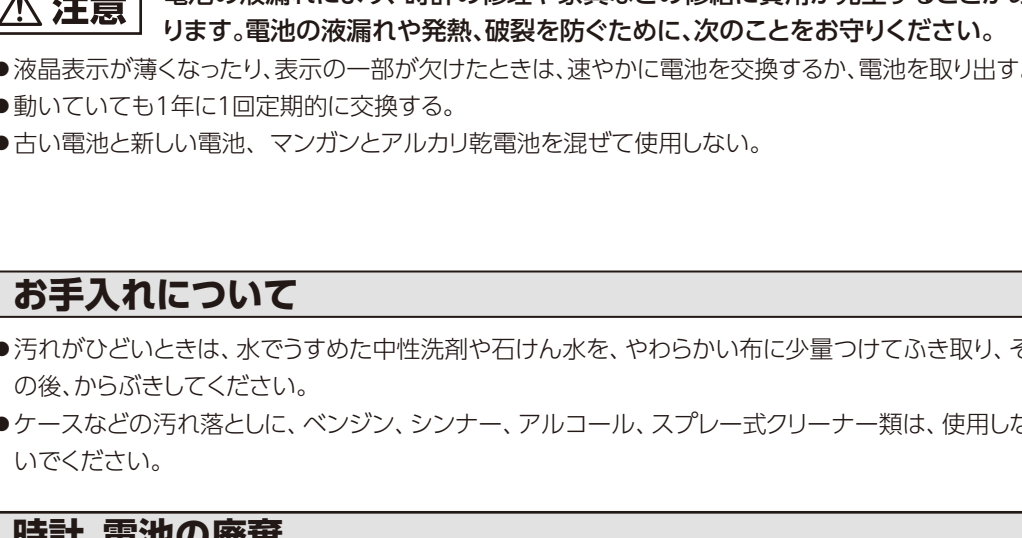
強制受信ボタンについて

各種設定中に誤って強制受信ボタンを押すと設定画面が終了し、受信を開始します。ご注意ください。設定画面に戻る際は、一度強制受信ボタンを押して設定画面を解除し、から再度受信をおこなってください。

強制受信 ボタンを押すと、福島局(40kHz)、または九州局(60kHz)の受信マークが点滅して受信を開始し、もう一度押すともう一方の受信局を探索します(「受信マークの見かた」参照)。場所を移動したときなど、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。受信マークの点滅中に1回または2回**強制受信**ボタンを押すと受信マークが消えて、電波受信が解除されます。

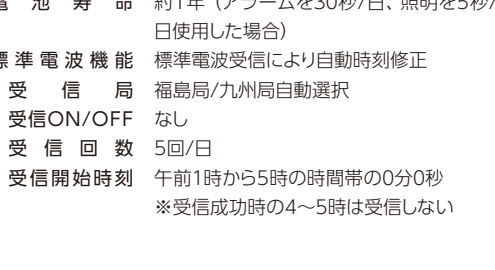
手動での時刻合わせ…電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、時刻(時、分、秒)、年(西暦)、月、日の順に設定してください。



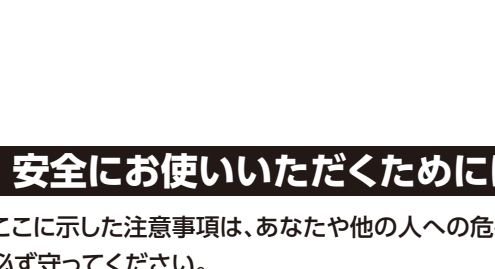
- 手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
- 約20秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 電波の受信中、アラーム時刻の設定中は、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う



① アラーム時刻を合わせる

①アラーム合わせを約3秒間押し続ける
アラーム時刻設定状態になり、アラーム時刻の「時」が点滅します。

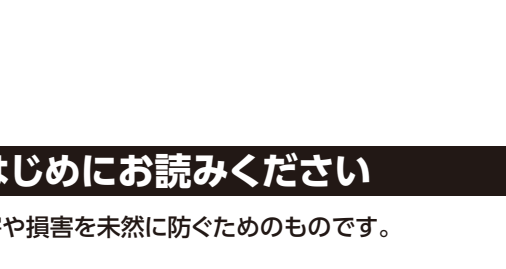


②アラーム時刻を合わせる
点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから**アラーム合わせ**を押すと数値を確定して「時」から「分」に進みます。
ボタン 押しすぎて離す 押し続ける
進む 1つ進む 早送り
戻る 1つ戻る 早戻し

③アラーム時刻を終わる
「分」の設定後、**アラーム合わせ**を押すと数値を確定して時刻表示に戻ります。
※設定中に約20秒間ボタン操作をしないと数値を確定して時刻表示に戻ります。
※時刻表示中に**アラーム合わせ**を押してすぐに離すとアラーム時刻が表示されません。もう一度押すと約20秒間ボタン操作をしないと時刻表示に戻ります。

② アラームのON/OFF設定

アラームON/OFFを押すとアラームのON/OFFが切り替わります。
※「アラームON/OFF」と「戻る」ボタンは兼用です。



③スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)
アラームが鳴っているときに、スヌーズを押すとアラーム音が5分間停止してからまた鳴り出します。回数の制限はなく、繰り返し使えます。アラームを止めるには**アラームON/OFF**でOFFにしてください。

④オートストップ機能(自動鳴り止め)
鳴っているアラーム音を約5分間放置すると自動停止します。

■アラームご使用上の注意

アラーム設定がONのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使用しないときは、アラーム設定をOFFにしてください。

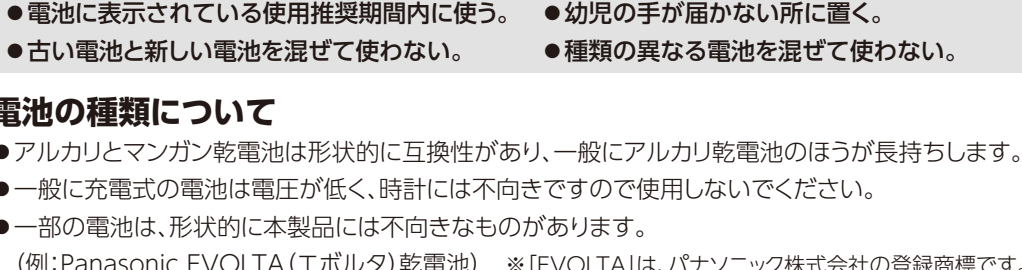
表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと約5秒間、液晶表示面を照明します。照明されているときには、時計正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読みにくいことがあります。

時刻表示形式の切り替え

※12/24H切替と「進む」ボタンは兼用です。

12/24H切替を押してすぐに離すと午前/午後表示付きの12時間と24時間表示が切り替わります。(12時間表示) (24時間表示)



温度・湿度表示について

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- ▶直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
 - ▶温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中、屋外などでは使用しないでください。
- 湿度は空気のかたまりとして移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所で違いがでます。温度、湿度は設置した所の高低によっても違いがでます。
 ③センサーが時計内部にあるため、ときには周囲の温度・湿度の変化を反映し測定せん。
 ○測定範囲を超えるときの表示とその意味
 温度 [HHH] 60℃を超える高温 [LLL] -9.9℃未満の低温
 湿度 [HH] 95%を超える多湿 [LL] 20%未満

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったり、表示の一部が欠けたときは、速やかに電池を交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クローナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃*結露しないこと (液晶表示可視温度範囲 0~40℃)	アラーム機能	設定した時刻にアラームを鳴らすアラーム精度 表示時刻に対して±0秒
時間精度	電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 標準月差±30秒 (25℃±5℃)	アラーム音	電子音
使用電池	単4形アルカリ乾電池 JIS規格 LR03 2本	スヌーズ	アラーム音が約5分間一時停止
電池寿命	約1年(アラームを30秒/日、照明を5秒/日使用した場合)	オートストップ	アラーム音が約5分間一時停止
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正	カレンダー	2000~2099年対応
受信局	福島局/九州局自動選択	照明	ボタンを押すと約5秒間照明
受信ON/OFF	なし	温度湿度表示	測定範囲 約30秒間隔
受信開始時刻	午前1時から5時の時間帯の0分0秒 *受信成功時の4~5時は受信しない	測定精度	-9.9~59.9℃
		温度精度	±2℃(10~40℃) ±4℃(-9.9~10℃、40~59.9℃)
		湿度表示範囲	20~95%RH(±10%)
		湿度精度	±10%RH
		防滴防塵機能	なし

(注) [%RH]は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には[%]で表示されています。
 ※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。
 ※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
 ※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
 ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけない。
●電池をショートしない。
●電池を分解させない。
●電池を充電しない。
●電池を加熱しない。
●電池を火の中に入れない。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息するおそれがあります。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
●目や皮膚に当たったら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕と⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない
さびや故障の原因になります。
- ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
- 液漏らしたときに素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●暖房機器からの風が当たる所。
●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生させる機器のそば。
●車中や船中、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電池の種類について

●アルカリとマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には向きませんので使用しないでください。

●一部は、形状的に本製品には向かないものがあります。
(例)Panasonic EVOLTA(エボルタ乾電池) ※EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きした電池は、保管状態や電池の使用推奨期間により、電池寿命が短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な日時に修正する時計です。

標準電波送信所は、福島局：おたかどや山標準電波送信所]と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の送信停止の影響について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。海外でのご使用はお勧めできません。

電波の受信範囲の目安

好条件時には、送信所から約1000km離れた場所でも受信可能です。ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので受信しにくくなります。また、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jijy.nict.go.jp)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の有無について
修理回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート <https://rhythm.jp/support/>

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例. 8RZ000

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損害、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。